

麦の穂

78
平成31年
1月10日発行

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

新年御挨拶

平成31年元旦
医療法人光臨会
理事長 荒木 攻

皆様、明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、広島東洋カープが球団初の三連覇の偉業を果たしました。しかし、その一方で全国的に災害が多い一年であり、広島では激甚災害に指定された7月の西日本豪雨災害が発生した年でもありました。災害現場には県公衆衛生チームとして当院のリハビリ療法士が7月、8月に支援活動に加わりました。今年は安穏な年であることを念じております。

当院では、治療においては脳血栓回収術による超急性期脳梗塞治療に注力し、病院に搬送されてから血栓回収まで60分以内に施行できる診療体制をほぼ整えることができました。今後はさらに時間短縮に取り組み、治療成績の向上を目指しております。脳卒中治療ガイドライン2015〔追補2017〕では、脳梗塞急性期に対して脳動脈の血管内再開通療法がグレードAで強く勧められています。1961年にスタートした国民皆保険制度の精神、「誰でも」「どこでも」「いつでも」国民がこのような素晴らしい医療を受けられるためには地域の脳卒中医療体制の見直しをしていく必要があるように考えられます。

新たな取り組みとしましては、今後益々重要となる地域連携の強化のために荒木脳神経外科オープンカンファレンス（日医師涯教育講座クレジット付）を開始し、6月、10月と2回開催をしました。加えて顔の見える医師同士の診療連携を推進するため、荒木脳神経外科病院主催の地域連携の会を11月に開催し、多数の先生方にご参加いただきました。

恒例となった当院が事務局となっている一般財団法人広島脳神経外科協会主催の「第6回Neurosurgery Update in Hiroshima」は8月に開催し、「次世代の方々に、伝えたいこと」をテーマに東京大学教授齊藤延人先生と九州大学名誉教授佐々木富男先生を講師としてお迎えし、脳神経外科医を中心に70名近くの医師の参加があり盛会裏に終えることが出来ました。今年も次の世代にその素晴らしい技術を引継いでもらうことを通じて、医学医療の発展と県民の健康と福祉の向上に貢献することを目的に開催を予定しております。

9月には日本医師事務作業補助研究会第8回全国大会を当院医療秘書課増成倫子係長が大会長となり、広島コンベンションホールで開催いたしました。1日だけの開催でしたが、全国から800名を超える参加者があり、この業務への関心の高さが伺われました。

今年秋にはいよいよ10%への消費増税が行われ、医療を取り巻く環境は厳しくなるばかりですが、職員一丸となり急性期医療の中核病院として、地域のみなさまから必要とされ、信頼される病院づくりを目指して参ります。



もくじ

- 1 新年御挨拶
- 2 摂食嚥下障害看護認定看護師のご紹介 / 西区民まつりに参加して
- 3 第1回地域連携の会～顔の見える連携の会～
第2回オープンカンファレンス
- 4 私の趣味自慢 ～ダイビング～ / 管理栄養士のおすすめメニュー
- 5 連携医療機関のご紹介 —— 宮川眼科 ——

摂食嚥下障害看護認定看護師のご紹介

摂食嚥下障害とは、疾患や加齢に伴い、食べることや飲み込むことに障害をきたすことです。急性期脳卒中の50%にみられる合併症で、6ヶ月経過後も13%に障害が残るとされています。また、摂食障害があると誤嚥性肺炎のリスクは3倍、さらに誤嚥が見つかったとそのリスクは20倍とされています。

当院は、急性期医療と並行し、早期から充実したリハビリテーションを多職種で行っています。その中で、脳卒中看護における摂食嚥下ケアの重要性を実感してきました。同時に、亡き母が摂食嚥下障害を患っていたことが、認定看護師を目指すきっかけになり、この度取得しました。

摂食嚥下障害看護認定看護師の役割は、安全で楽しい「食」の支援です。そのため、嚥下機能評価、口腔ケア、安全な姿勢調整・食事援助の実践や指導、栄養管理を多職種で実践しています。

当院には摂食嚥下障害看護認定看護師が2名在籍しており、連携を取りながら誤嚥性肺炎の発症を予防し、少しでも多くの方が安全でその人らしい経口摂取を実現するため、「口から元気、そして生きる力を取り戻す」支援を目指し研鑽して参りますので今後ともよろしくお願い致します。

看護部 摂食嚥下障害看護認定看護師
佐藤 理恵



第34回 西区民まつりに参加して

去る平成30年11月4日(日)、西区商工センターで開催された「第34回西区民まつり」へ参加させて頂きました。

当院からは、江本副院長をはじめ看護師、療法士など総勢19名の職員が参加し、体組成測定、体力測定、キッズ撮影会を行い、200名以上の方にブースに来ていただきました。

体組成測定、体力測定後にはスタッフからの説明もあり、熱心に聞かれている姿に、健康への関心の高さを実感しました。キッズ撮影会では、たくさん子どもたちが白衣やナース服に身を包み、笑顔で撮影している姿が印象的でした。

少しでも当院を身近に感じて頂き、区民の皆様の健康づくりに少しでもお役に立てたのではと自負しております。

今後も引き続き、地域医療にとどまらず地域活動にも貢献して参ります。来年の西区民まつりでも、皆様のお越しをお待ちしております。

看護部 森川 好彦



キッズ撮影会の様子



活動中の1コマ

第1回地域連携の会～顔の見える連携の会～

去る平成30年11月8日（木）TKPガーデンシティ広島（中区）にて「荒木脳神経外科病院 地域連携の会」を開催いたしました。本会は日頃からお世話になっている諸先生方をお招きし、当院をより深くご理解頂き、身近に感じて頂くことを目的に、講演会では荒木勇人院長より診療内容や当院の取り組みをご説明させて頂きました。その後の懇親会では先生方とお食事やお酒を飲みながら情報交換を通じて親交を深めることもできました。ご多忙にも関わらず多くの先生方にご参加頂き、深謝申し上げます。

本会の開催に至る経緯に「いつもご紹介頂くのにお顔を存知あげない」これではいけないと感じておりました。また地域連携の推進はお互いの発展に資するものとも考えておりましたので、本会の開催はむしろ遅きに失したというところが本音でもありました。

ご参加頂きました先生方からのご意見は、「有意義でとても参考になった」「このような会を開いて頂いて有難い」とのお言葉を多く頂戴し嬉しく思っております。多くの先生方と面識を持つことは、顔の見える連携の強化となり、信頼される病院づくりにつながると共に地域医療に貢献できるものと信じ、今後も継続して活動して参ります。

副院長 脳神経外科 江本 克也



院長の講演の様子



懇親会の様子

第2回オープンカンファレンス

去る平成30年10月3日（水）第2回荒木脳神経外科病院オープンカンファレンスを当院で開催しました。

広島大学循環器内科学の准教授 中野由紀子先生を講師にお招きし、「脳梗塞予防と心房細動について」をテーマとした特別講演を行って頂きました。心房細動の根治治療として、現在はカテーテルアブレーションが主流となっており、以前は根治が難しいとされていた心房細動も、治療可能な疾患となっていること、早期発見・早期治療の為に診療科の垣根を越えた連携が肝要であるということでした。

続いて、荒木勇人院長から「当院の診療内容について」というテーマで講演を行いました。当院の各診療科で取り扱う疾患や、各医師の得意な診療分野について紹介をしました。

今回も地域の多くの先生方にご参加をいただき、貴重なカンファレンスとなりました。次回は認知症をテーマにし、平成31年5月開催を予定していますので、多くの先生方にご参加をお待ちしています。

地域連携推進部門 地域連携室 室長 佐々木 洋



中野由紀子先生の講演の様子

私の趣味自慢 ～ダイビング～

職員の趣味を紹介し、親しみていただくコーナーです。

第2回は脳神経外科医長 谷 到 先生の趣味を自慢してもらいます。

私とダイビングの出会いは、中学時代1984年の体験ダイビングでした。

海の下に広がる世界に感動しました。さらに、水深25mではぐれたり、水深1mで溺れそうになったりの冒険も楽しんでいます。ダイビングの魅力は、僕が考えるのには大きく分けて2つです。①異世界、無重力空間の冒険。②一切会話できなくても、同じ体験をすることで世界の人たちと楽しめること。おすめは、無重力で、水面から差し込む太陽光線と、息の泡が幻想的です。最近NHKで、片麻痺などの、障害者の方がダイビングを楽しんでいる話を見ました。日本では、一部にしかありませんが、陸上では動かしにくい手足でも、海の中では動けるので楽しんでいる方もいるようです。

たとえ病気になったとしても、“とにかくやってみる！”その行動が、人生を楽しみ、新しい病気も認知症も予防していけると私は信じています。



ダイビング中の様子



発見したウミガメ



脳神経外科医長 谷 到

管理栄養士のおすすめメニュー



☆カリフラワーのミルクスープ煮

〈材料〉2人分	【調味料A】水	200g
カリフラワー 1/2本(200g)	顆粒コンソメ	1g
ジャガイモ 1/2個(100g)	油	小さじ1杯(4g)
にんじん 1/2本(100g)	【調味料B】牛乳	150g
豚もも肉 150g	味噌	小さじ1/2杯(3g)
グリーンピース 5g	塩	1g
	コショウ	少々

作り方

- ① カリフラワーは小房に分け、カリフラワーの茎とジャガイモは1cm幅に輪切り、玉ねぎは乱切り、にんじんは半月切り、豚もも肉は一口大にする。
- ② 鍋に油を熱し、玉ねぎが透き通るまで炒め、豚肉を加え、色が変わったら、カリフラワー、ジャガイモ、にんじんを加え、調味料Aを入れ、柔らかくなるまで弱火で煮る。
- ③ 調味料B、グリーンピースを加え、弱火で5分程度煮る。

カリフラワーは冬を代表する野菜の一つです。

カリフラワーに豊富に含まれるビタミンCは抗酸化作用を持ち、動脈硬化予防や免疫力を高める働きがあります。カリフラワーは加熱してもビタミンCが失われにくいので、煮物やシチューなどあたたかい料理にぴったりです。ビタミンB1を含む豚肉と一緒に食べることで、疲労回復の効果も期待できます。



管理栄養士 森原 千賀

連携医療機関のご紹介



宮川眼科

住 所：〒733-0812 広島市西区己斐本町3丁目4-5

T E L：082-527-1500

F A X：082-527-1600

診療科目：眼科

名誉院長：宮川公博

院 長：佐々木崇暁

病院URL：http://miyagawaganka.jp/



院長 佐々木崇暁先生

受付時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
午前 8:30~12:45	佐々木	宮川	佐々木	手術 (佐々木) 診察 (宮川)	佐々木	佐々木 ※1	—
午後 14:15~17:45	佐々木	—	佐々木	斜視弱視 (斜視専門医) 手術 (佐々木) ※2	佐々木	手術 (佐々木)	—

※1 土曜日の受付時間は12:00までです。

※2 木曜日の午後
第2木曜日以外：斜視弱視専門外来(要予約)
第2木曜日：手術



私が、平成28年9月から宮川眼科を継承開業しました。西広島駅から歩いて約5分程度の所にあります。そして、医院に隣接してメガネの田中己斐本町店がございます。

現在、日帰り手術やレーザー治療含めた外科的治療を主体に、眼科全般にわたる診療をさせて頂いています。私が大切にしていることは「信頼関係（安心感）」です。診察では、患者様が苦痛・不安・悩みを話しやすい空間をご提供し、患者様が納得されるまで説明をさせて頂いています。

眼球は眼窩という空間の中にあり、眼窩の周りには脳があります。その為、眼科と脳神経外科は密接な関係にあります。宮川眼科と荒木脳神経外科病院は、歩いて約10分程度と距離も近いです。荒木脳神経外科病院の先生方には、抗VEGF薬硝子体内注射に対する脳梗塞の有無、緑内障の除外診断目的で頭蓋内病変の有無、眼球打撲などの外傷、視機能低下に伴う頭蓋内病変の有無など、いつも快くお引き受け頂き、大変心強く思っています。

「宮川眼科に受診して良かった」と感じていただけるよう、私、看護師、視能訓練士、受付事務員の全スタッフがチーム一丸となって、少しでも地域医療に貢献したいとの思いで、日々検討しながら取り組んでいきますので、今後とも引き続きどうぞ宜しくお願いします。



医療法人光臨会 理念

- 一、皆様に安心していただける、
全人的な医療と介護を目指します

荒木脳神経外科病院 理念

- 一、脳神経外科としての専門性を軸に、
幅広い診療体制で地域医療に貢献します
一、急性期医療の中核病院として、
高機能で質の高いチーム医療を行います

運営方針

1. 「医療の原点は救急である」
2. 快適な療養環境と接遇の提供
3. チーム医療の推進と相互啓発
4. 「医療と福祉の複合化」の推進

患者様の権利

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が
次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に
基づいた医療を行います

1. 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
2. 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
3. 医療に関して知る権利を尊重します
4. 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
5. 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します
6. 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します
7. 苦情を申し立てる権利を尊重します

患者様の義務

1. 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療に必要な自らの情報を正確に伝える義務があります
2. 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。



外来担当医表

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初診(1診)	渋谷	中原	沖	江本	太田	広大
		初再診(2診)	荒木(勇)	谷	江本	沖	渋谷	谷
		初再診(3診)	沖	太田	加納		荒木(勇)	
	午後	初再診	谷	加納 (1・3・5週) 沖 (2・4週)	広大	加納	沖	広大 江本
脳神経内科	午前	初再診(3診)				青木		
総合診療 (内科・外科)	午前	初再診(4診)	野村	浅本	藤井	浅本	藤井	野村
	午後	初再診(4診)	藤井	浅本	野村	浅本	野村	野村
	午前	検査		浅本		野村 浅本		
	午後	検査		浅本	野村	浅本		
脳神経外科 消化器内科	午前	初再診(5診)		荒木理事長			加納	井上

診察時間

◆完全予約制

午前 9 時～12 時

(初診受付：午前 11 時 30 分迄)

午後 3 時～6 時

(初診受付：午後 5 時 30 分迄)

救急は 24 時間受付けております

※井上名誉教授
第 1 土曜日 月 1 回

医療法人光臨会

荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス http://www.arakihp.jp

荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7
TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

デイサービス あらき

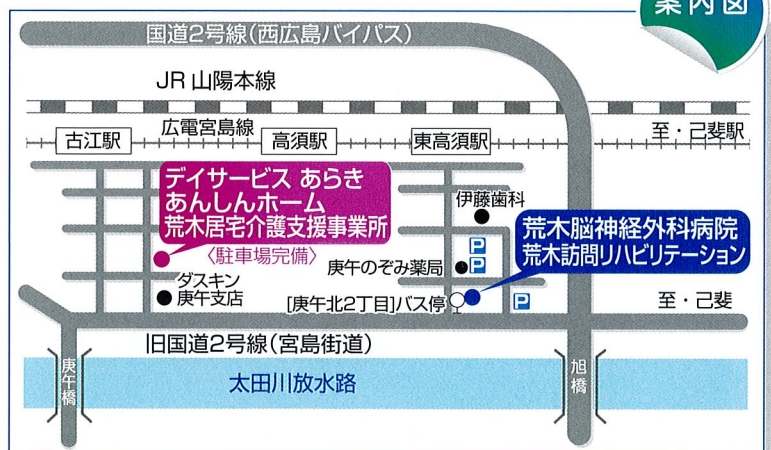
〒733-0822 広島市西区庚午中 2 丁目 11-15
TEL 082-507-6100

あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

〒733-0822 広島市西区庚午中 2 丁目 11-15
TEL 082-507-6600

荒木居宅介護支援事業所

〒733-0822 広島市西区庚午中 2 丁目 11-15
TEL 082-507-6300



交通案内

- 自動車
西広島バイパス「庚午出口」より
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)
- 広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分
- 広島バス25号線／「庚午北2丁目」バス停前

お知らせ

・職員からの多数の応募の中から当院の医療安全標語が『聞き返す その勇氣こそ 大切だ』に決定し、1年間この標語を合い言葉に、業務を遂行していきます。